

区分/ 工法 展示No	区分: <input type="checkbox"/> 電動化 <input type="checkbox"/> 軽量・小型化 <input type="checkbox"/> 環境寄与 <input type="checkbox"/> 自動運転・安全 <input type="checkbox"/> 原価低減・品質向上 <input checked="" type="checkbox"/> その他の技術分野		
	工法: <input type="checkbox"/> 部品加工() <input type="checkbox"/> 表面処理 <input checked="" type="checkbox"/> 素材/材料 <input type="checkbox"/> 設備/装置 <input type="checkbox"/> 金型/治工具 <input type="checkbox"/> システム/ソフトウェア <input type="checkbox"/> デザイン <input type="checkbox"/> 自動化技術 <input type="checkbox"/> その他()		
提案名	特殊機能ゴム材料	工法	新規性
		ゴム成型	業界最先端
会社名	宮坂ゴム(株)	所在地	〒391-0295 長野県茅野市豊平5350番地
連絡先		URL	: http://www.miyasaka.co.jp
部署名: 営業部		Tel No.:	0266-73-7100
担当名: 宮崎 千明		E-mail:	chiaki.miyazaki@miyasaka.co.jp
主要取引先	<ul style="list-style-type: none"> ・住友電装(株) ・日本航空電子工業(株) ・日本圧着端子製造(株) ・古河電気工業(株) ・矢崎部品(株) ・日本端子(株) 	海外対応	<input checked="" type="checkbox"/> 可 (生産拠点国を記入 フィリピン タイ 中国) <input type="checkbox"/> 否

<< 提案内容 >>

提案の狙い	適用可能な製品/分野				
<input type="checkbox"/> 電動化 <input type="checkbox"/> 質量低減(軽量化・小型化) <input type="checkbox"/> 環境寄与/対策 <input type="checkbox"/> 自動運転・安全 <input type="checkbox"/> 原価低減 <input checked="" type="checkbox"/> 品質/性能向上 <input type="checkbox"/> 生産(作業)性向上 <input type="checkbox"/> その他()	<ul style="list-style-type: none"> ・電装部品 ・コネクタ用防水・防塵シール ・制振・消音部品 ・バルブ ・EMC対応部品 ・耐油・耐熱・耐寒部品 				
従来	新技術・新工法				
<p>① フッ素ゴム(耐寒性改善) 一般市場で利用されているフッ素ゴムの殆どは耐寒性レベルは-15℃付近であり、極寒地域向けの車載部品には適合しない場合もある</p> <p>② H-NBR(低膨潤特性) 某メーカー指定のドレン油・水、タービン油を用いた膨潤試験において、一般市場で利用されているH-NBRの殆どは±2~3%レベルが限界で、かつその数値も安定し難い</p> <p>③ 振動吸収ゴム 一般的合成ゴムの特色は、反発弾性</p> <p style="color: red;">*特許第4751028号 *特許第5101807号</p> <p>④ 電磁波シールド・吸収ゴム 一般的合成ゴムは、元々、電磁波シールド特性を持たない</p>	<p>① 耐寒性レベルを-40℃付近まで引き上げており、より安心して車載用部品として採用可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TR試験 TR10 : 最大 -45℃ ・ ゲーマンねじり試験 T10 : 最大 -43℃ ・ 衝撃脆化試験 50%脆化時 : 最大 -51℃ ・ 衝撃脆化試験 限界温度 : 最大 -47℃ <p>② 左記、条件全てにおいて±1%以内、かつ安定を実現</p> <p>③ 弊社開発材料「ミヤフリーク」はEPDMをベースポリマーとし、高い振動吸収(減衰)特性を持つ顧客要望に合わせベースポリマーの変更や配合チューニングによるカスタマイズ対応可能(制振目的のスタンダードとし、その他に衝撃緩衝、耐油・耐熱・耐薬品特性も付与したグレードもあり)</p> <p>④ 弊社開発材料「ミヤトロンSAN」はシリコンゴムをベースポリマーとし、高い電磁波シールド・吸収特性を持つ5G対応機器採用に向け、現在、高周波域における効果を測定・確認中(例:40G Hz付近)</p>				
セールスポイント(製造可能な精度/材質等)	問題点(課題)と対応方法				
・ お客様要求に対応した カスタム配合技術	・ 材料によって形状化が難しい材質がある ⇒対応可能な最適形状の提案				
開発進度 (2020年 4月 現在)	パテント有無				
<input type="checkbox"/> アイデア段階 <input type="checkbox"/> 試作/実験段階 <input type="checkbox"/> 開発完了段階 <input checked="" type="checkbox"/> 製品化完了段階	有				
従来との比較	項目	コスト	質量	生産/作業性	その他(材料の機能性)
	数値割合	-	-	-	例:フッ素ゴム耐寒性 260%向上